

整理番号	44-8	事務事業名	きたひろしま文庫の会活動 補助事業		作成部署	生涯学習部社会教育課	電話	内線889
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	山内平一郎	課長職名	可児正樹	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H3	根拠法令等	北広島市教育関係団体補助金等交付規則					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	市内で文庫活動を進める団体の連合体の発足に至り、その育成・支援を目的に開始。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐむまち	(第4章)
	節	社会教育	(第3節)
	施策	読書活動の充実	(第5施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市民(子どもたち)	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	多くの子どもたちに読書のよこびと楽しさを広める読書普及事業を推進するため、補助を行う。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	【きたひろしま文庫の会の活動】 読書普及活動(おはなし会の実施) 学習・研修会～ブックスタート、語り等の実技を含めた学習会・講演会を行う 読書まつりへの参画 市内外の読書普及団体及び関係団体との交流
		17年度	同上

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	180	171	163	163
	合計	180	171	163	163
人件費(概算)	人数(年間)	0.002	0.002	0.002	0.002
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	18	18	18	18
総事業費 +		198	189	181	181

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	会員数(人)	19	19	20	20
	読書普及事業開催回数(回)	52	80	140	140
	文庫ルーム開放事業開催日数(日)	352	346	350	350
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	読書普及事業参加者数(人)	3,262	4,772	8,520	8,520
	文庫ルーム開放事業参加者数(人)	9,897	9,508	9,500	9,500
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	全事業参加者1人あたりのコスト (総事業費 / 事業参加者総数)	¥15	¥13	¥10	¥10
	読書普及事業開催1回あたりのコスト (総事業費 / 事業開催総回数)	¥3,808	¥2,363	¥1,293	¥1,293

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	幼児に対する読書普及のあり方について、近年、全国的に研究から実施に向けて活動している動きがあり、当団体もそれに向けて学習・研修を行っている。
---------------------------------	------------------------------------------------------------------------

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	読書普及により、より良い人材・人格を育むことは、生涯学習の見地から妥当と考える。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	読書普及により、より良い人材・人格を育むことは、青少年のみならず全年代への教育に至るまで波及していくことであり、ひとつづくりの一環としても妥当と考える。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	各地区で子どもたちへの読書普及活動を展開しており、概ね妥当と考える。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	事業参加者総数が延べ数とはいえず、当市の年少人口(約8,600人)を大いに超えていること、さらに前年度に比べ事業数・参加者数が増加していること等から判断した。	図書館、小中学校、保育園等との連携の中でさらなる有効性の追求を目指していただくことも改善方法の一つと考える。
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	経験をつんだ会員による事業化は概ね効率的と考える。 財源が限られてくる中、普及事業をより多く推進していることは指標からも効率的と考える。	地域の読書普及に効率(専門性・手法・コスト)を追求していくため、図書館との連携をより強化していくことも重要である。

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	読書普及事業が主たる活動であり、専門性や効率性を高めるため、図書館との連携の中で事業化していくことなどについて検討していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	44-8
------	------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	きたひろしま文庫の会活動事業補助金		
交付先の名称及び代表者名	きたひろしま文庫の会 会長 竹田 妃登美	設立年	昭和55年
構成員(団体)数	18名 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	北広島市の多くの子どもたちに読書のよこびと楽しさを知ってもらうため、より良い読書環境づくりの一端を担うことを目的とする。		
交付先団体等の活動内容	読書普及活動(おはなし会の実施) 学習・研修会 ～ブックスタート、語り等の実技を含めた学習会・講演会を行う 読書まつりへの参画 市内外の読書普及団体及び関係団体との交流		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)
収 入	本市補助・交付金の額(A)	180	171	163
	その他補助金	25	25	25
	会費	13	25	18
	諸収入	19	0	0
	寄付金	30	0	30
	繰越金	0	0	0
	収 入 合 計(B)	267	221	236
支 出	消耗品費	17	10	10
	印刷製本費		18	20
	通信費	16	7	6
	学習研修費	147	114	130
	行事費	45	52	50
	図書購入費	42	20	20
	支 出 合 計(C)	267	221	236
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		67 %	77 %	69 %
補助・交付金の対象経費(項目)		全ての経費(事業費)	全ての経費(事業費)	全ての経費(事業費)
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		267	221	236
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		67 %	77 %	69 %
補助・交付金の算出根拠	定額(平成15年度:180千円、平成16年度:171千円、平成17年度:163千円)			